

平成22年5月分電力需給状況

需要の概要

平成22年5月の販売電力量は、22億1千万kWh時、前年比 105.3%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、4月中下旬の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比 106.7%となった。

電灯等の低圧需要の5月分検針期間は、前月(4月)の検針日から当月(5月)の検針日の前日までの1か月間であるため、4月における気温影響の一部は、5月分に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、前年比 99.1%となった。

産業用の「大口電力」は、繊維や鉄鋼、機械で生産が持ち直していることなどから、前年比 110.9%となった。

需要実績

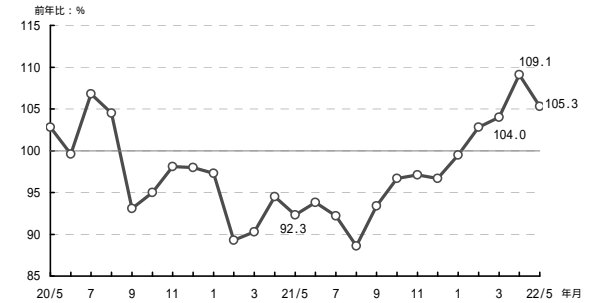
		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	754	106.7
	電 力	140	100.1
	計	894	105.6
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	473	99.1
	産業用電力	843	108.7
	うち大口電力	(670)	(110.9)
	計	1,316	105.1
販売電力量 計		2,210	105.3
融 通		378	332.6

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
電力量	前年比	前年比		
		22/5月	22/4月	22/3月
織 維	34	129.2	129.9	112.0
紙・パルプ	128	103.0	122.8	110.5
化 学	104	124.7	119.6	135.4
鉄 鋼	80	119.3	102.8	120.2
機 械	142	110.9	113.4	114.9
そ の 他	182	103.8	103.2	103.2
合 計	670	110.9	112.7	113.5

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	22/4月				22/5月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	13.5	13.3	14.4	13.7	18.9	18.4	19.3
平年差	0.8	1.3	1.9	0.9	1.2	0.3	0.6	0.1
前年差	0.3	4.6	1.2	1.9	0.4	1.9	1.6	1.0

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 188.4%となった。
- 水力は、前年の湯水の影響などにより、前年比 312.4%となった。
- 火力は、原子力、水力の増加などにより、前年比 67.4%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		
		電力量	前年比	備 考
原子力	(47)	1,289	188.4	出水率 104.6% (21年5月出水率 31.2%)
水力	(14)	395	312.4	
火力	(38)	1,030	67.4	
新エネ	(1)	35	116.6	
発受電計	(100)	2,748	116.0	
その他		5		
供給計		2,744	115.4	

注1. 新エネには西条バイオマス(0.5百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(106.9)	502	(103.0)	362	(106.5)	775	(103.7)	571

注.()内は前年比